



## 平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月14日

上場会社名 横浜冷凍株式会社

上場取引所 東

コード番号 2874 URL <http://www.yokorei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 俊雄

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部 部長 (氏名) 鈴木 大介

TEL 045-210-0011

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日

平成26年6月16日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	68,146	21.2	2,668	16.5	2,648	10.4	1,614	8.8
25年9月期第2四半期	56,216	△2.2	2,290	67.8	2,399	72.1	1,483	92.8

(注) 包括利益 26年9月期第2四半期 1,741百万円 (△25.5%) 25年9月期第2四半期 2,338百万円 (139.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	31.19	27.30
25年9月期第2四半期	28.68	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年9月期第2四半期	107,009	59,377	55.0	1,137.68
25年9月期	97,593	58,159	59.1	1,114.84

(参考) 自己資本 26年9月期第2四半期 58,871百万円 25年9月期 57,689百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年9月期	—	10.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	9.5	4,500	20.7	4,500	18.2	2,500	8.3	48.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期2Q	52,450,969 株	25年9月期	52,450,969 株
② 期末自己株式数	26年9月期2Q	704,358 株	25年9月期	703,823 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期2Q	51,746,887 株	25年9月期2Q	51,748,046 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益の改善のもと設備投資が持ち直し、雇用環境の改善に支えられた個人消費が底堅く推移するなど、緩やかな回復基調を示しました。一方、電力費の値上げや消費増税後の先行き懸念、そして新興国経済の成長鈍化や欧州債務問題といった海外景気の下振れ要因もあり、依然として不透明さを残した経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、平成23年10月にスタートさせました第四次中期経営計画（3ヵ年）が当期で最終年度を迎え、事業運営方針の柱である「コア事業の強化」と「成長力の強化」に基づく業績向上に向けた各施策に注力しております。

冷蔵倉庫事業は東日本大震災以降続いた高在庫状態は解消され、在庫水準は落ち着きを見せており、荷動きも活発になってきました。食品販売事業は水産品・畜産品ともに相場が一昨年的大幅な下落から反転し、主力商材については高値推移が続くタイトな状況となっています。

その結果、当社グループの当第2四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高68,146百万円（前年同期比21.2%増）、営業利益2,668百万円（前年同期比16.5%増）、経常利益2,648百万円（前年同期比10.4%増）、四半期純利益1,614百万円（前年同期比8.8%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

## (冷蔵倉庫事業)

当期は期初から荷動きが活発に進み、在庫回転率も向上してまいりました。「成長力の強化」の主要施策である「物流アウトソーシングサービス」は、スタートして3年目に入り、全物流センターに浸透・定着し、着実に業績に貢献しております。また、期初に独立・設置した「物流通関部」は収益機会を拡大し、通関収入を増加させ業績に寄与しております。

貨物取扱量の状況は円安トレンドの影響を受けた外貨品の減少を内貨品の取扱いで補い、平均保管在庫量は約22千トンの減少（前年同期比1.4%減）となったものの、入庫取扱量は約17千トンの増加（前年同期比3.0%増）、出庫取扱量は約2千トンの微増（前年同期比0.3%増）で着地しました。また、タイ国の連結子会社タイヨコレイ(株)においては、平成25年12月にワンノイ物流センター2号棟が完成し、現地の旺盛な低温物流ニーズに向けた態勢を強化しています。当期も入出庫ともに順調に推移し、増収増益となりました。

以上の結果、冷蔵倉庫事業の業績は、売上高は11,041百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は2,860百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

## (食品販売事業)

水産品は、前連結会計年度に底打ちから反転をみせました相場が、その後も需給バランスが引き締まる環境下で高値推移を続けております。カテゴリーでは、取扱数量は前期比では1.8%の微減ながらも、単価上昇の中、堅実な販売に取り組み増収増益となりました。個別商材で見ますと、供給量が減少している輸入鮭鱒類、エビ、サバなどが売上・利益に寄与し、先高感が強かったカニ類も、時宜を捉えた買付により大きく利益に貢献しました。前期まで4年連続不漁のウナギは、当期は急転してシラスが豊漁となり、市場の先安観から在庫価格が下落したため、増収減益となりました。畜産品は、ポークがEU輸入品の取扱を増加させ単価の上昇基調も奏功し大幅な増収増益となりましたが、他品目の利益率低下などにより、全体としては増収減益となりました。農産品は、馬鈴薯、玉葱の利益率改善により、増収増益となりました。

以上の結果、食品販売事業の業績は、売上高は57,088百万円（前年同期比25.6%増）、営業利益は757百万円（前年同期比75.5%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ9,416百万円増加し、107,009百万円となりました。これは主に商品が7,599百万円、有形固定資産が4,057百万円増加したことや、有価証券が2,000百万円減少したこと等によるものです。

負債総額は、前連結会計年度末と比べ8,198百万円増加し、47,631百万円となりました。これは主に借入金が増加した8,332百万円増加したこと等によるものです。

また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1,218百万円増加し、59,377百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」)は、前連結会計年度末に比べ3,060百万円減少の3,098百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な内容は次のとおりです。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、5,537百万円の資金の減少(前年同四半期は6,651百万円の資金の増加)となり、その主な内容は税金等調整前四半期純利益2,648百万円及び減価償却費1,742百万円などによる資金の増加と、売上債権の増加額325百万円、たな卸資産の増加額7,555百万円、仕入債務の減少額170百万円及び法人税等の支払額1,309百万円などの資金の減少によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、5,272百万円の資金の減少(前年同四半期は1,536百万円の資金の減少)となり、その主な内容は有形固定資産の取得による支出5,136百万円などによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、7,753百万円の資金の増加(前年同四半期は4,996百万円の資金の減少)となり、その主な内容は金融機関からの借入の純増額8,314百万円による資金の増加と、配当金の支払額517百万円などによる資金の減少によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の連結業績予想につきましては、「平成25年9月期 決算短信」(平成25年11月14日付)で公表した数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,159	3,098
受取手形及び売掛金	16,035	16,363
有価証券	2,000	—
商品	14,177	21,776
繰延税金資産	624	643
その他	360	654
貸倒引当金	△29	△33
流動資産合計	37,328	42,503
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,182	27,012
機械装置及び運搬具（純額）	4,699	6,271
土地	19,106	19,126
リース資産（純額）	175	156
建設仮勘定	1,937	2,444
その他（純額）	302	449
有形固定資産合計	51,403	55,461
無形固定資産		
のれん	696	620
その他	1,627	1,700
無形固定資産合計	2,324	2,320
投資その他の資産		
投資有価証券	4,993	5,131
長期貸付金	87	155
繰延税金資産	33	79
その他	1,465	1,433
貸倒引当金	△43	△76
投資その他の資産合計	6,537	6,724
固定資産合計	60,265	64,506
資産合計	97,593	107,009

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,515	6,344
短期借入金	5,145	8,296
1年内返済予定の長期借入金	2,201	2,729
リース債務	72	70
未払法人税等	1,398	1,139
賞与引当金	639	496
役員賞与引当金	30	15
その他	3,346	3,774
流動負債合計	19,348	22,866
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	7,000	7,000
長期借入金	11,470	16,124
リース債務	110	92
繰延税金負債	357	367
退職給付引当金	636	653
役員退職慰労引当金	331	349
資産除去債務	105	105
その他	73	73
固定負債合計	20,085	24,765
負債合計	39,433	47,631
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	11,065	11,065
資本剰余金	11,109	11,109
利益剰余金	35,335	36,427
自己株式	△521	△521
株主資本合計	56,989	58,080
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	734	818
繰延ヘッジ損益	5	0
為替換算調整勘定	△39	△28
その他の包括利益累計額合計	700	790
少数株主持分	469	506
純資産合計	58,159	59,377
負債純資産合計	97,593	107,009

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	56,216	68,146
売上原価	50,489	61,817
売上総利益	5,727	6,329
販売費及び一般管理費	3,436	3,661
営業利益	2,290	2,668
営業外収益		
受取利息	9	6
受取配当金	33	35
保険配当金	29	28
固定資産売却益	43	1
その他	176	73
営業外収益合計	292	145
営業外費用		
支払利息	125	117
固定資産除売却損	35	25
その他	22	22
営業外費用合計	183	165
経常利益	2,399	2,648
税金等調整前四半期純利益	2,399	2,648
法人税、住民税及び事業税	1,022	1,089
法人税等調整額	△140	△89
法人税等合計	881	1,000
少数株主損益調整前四半期純利益	1,517	1,647
少数株主利益	33	33
四半期純利益	1,483	1,614

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,517	1,647
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	648	83
繰延ヘッジ損益	65	△5
為替換算調整勘定	106	15
その他の包括利益合計	821	94
四半期包括利益	2,338	1,741
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,276	1,704
少数株主に係る四半期包括利益	62	37

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,399	2,648
減価償却費	1,713	1,742
のれん償却額	76	76
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△155	△142
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13	△15
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	22	17
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5	18
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2	37
受取利息及び受取配当金	△43	△42
支払利息及び社債利息	125	117
売上債権の増減額 (△は増加)	611	△325
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,276	△7,555
仕入債務の増減額 (△は減少)	202	△170
未払費用の増減額 (△は減少)	△30	39
その他	647	△599
小計	6,839	△4,154
利息及び配当金の受取額	43	40
利息の支払額	△126	△114
法人税等の支払額	△105	△1,309
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,651	△5,537
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,883	△5,136
有形固定資産の売却による収入	415	8
投資有価証券の取得による支出	△2	△17
貸付けによる支出	△102	△69
貸付金の回収による収入	76	55
その他	△40	△112
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,536	△5,272
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,456	3,139
長期借入れによる収入	2,283	6,406
長期借入金の返済による支出	△1,214	△1,231
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△517	△517
社債の償還による支出	△47	—
その他	△43	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,996	7,753
現金及び現金同等物に係る換算差額	9	△4
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	127	△3,060
現金及び現金同等物の期首残高	2,700	6,159
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,827	3,098

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,749	45,461	5	56,216	-	56,216
セグメント間の内部売上高 又は振替高	794	-	22	816	△816	-
計	11,543	45,461	28	57,032	△816	56,216
セグメント利益	2,758	431	7	3,196	△906	2,290

(注) 1. セグメント利益の調整額△906百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	冷蔵倉庫事業	食品販売事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,041	57,088	15	68,146	-	68,146
セグメント間の内部売上高 又は振替高	944	-	22	966	△966	-
計	11,986	57,088	38	69,112	△966	68,146
セグメント利益	2,860	757	17	3,634	△966	2,668

(注) 1. セグメント利益の調整額△966百万円は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。